

みんなでつくろう！ようかいのまち

# 八日市 まち協だより

NEW  
八日市  
コミセン HP



第69号

令和5年11月発行

## 体にいいこと

### フェスティバル開催



ダンスにチャレンジ！



やってみると割と簡単  
ネットでポンポイ



何枚に命中するかな  
ディスゲッター9



健康推進員さんによる  
食生活指導



初めてのピラティス  
人気がありました

第1回  
八日市コミセン  
体にいいことフェスティバル

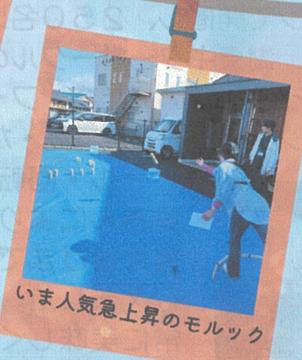
10月15日  
開催しました

初めての試みとして八日市コミセン体にいいことフェスティバルを開催しました。

ホールではピラティスなどの教室、駐車場では人気上昇中のモルック体験など、A棟では骨密度測定など、体にいいことを体験していただきました。



転倒防止と認知機能の維持に  
最適なスクエアステップ



いま人気急上昇のモルック



あなたの骨密度は？

## 文化祭

10月30日～11月5日



八日市市  
手話サークル「ノアの会」さんによる  
初出展



先生ここ知ってるで、八日市駅や



能面かぶったよ



おばけのトートバッグつくりの  
ワークショップ



今年も開院、おもちゃの病院



ハンドルを回すと....



続きは右のQR  
コードからご覧  
ください。

# 各町

## 浜野

10月9日(祝)に浜野総自治会で、昭和47年に建てられた浜野会館の50周年記念まつりが行われました。会場の浜野会館に子どもとその保護者を対象とした午前の部と、成人・高齢者を対象とした午後の部に分けて、約200名の住民が集まりました。

午前はお猿のショーと木猫隊のコンサート、午後はお猿のショーとマジックショーを鑑賞し、それぞれの部でじゃんけん大会と豪華商品が当たる抽選会があり大いに盛り上がり、秋の一日を楽しみました。



浦根悦夫



## 八日市町

八日市町では、4年ぶりの夏まつりを8月6日に八日市コミセンで開催し、250名以上の参加でした。ステージでは、湖東ギターサークルの方々に懐かしいフォークソングを歌っていただき、フードコートでは、焼きそば・フランクフルト・焼き鳥・かき氷・ポップコーン・

ビール・回転くじ等を多くの自治会員さんにより準備から販売終了後の後片付けまで、協力いただき盛大に行えました。鉄板での焼き物は、非常に美味しい、たのしい時間に花を添えていました。

途中から雨降りとなりbingoゲームはホールで開催しましたが、大盛り上がりでした。

川村信藏



## 東本町

7月29日(土)に大凧会館駐車場にて第1回東本町フェスティバルが開催されました。

空き缶つみや紙飛行機飛ばしなどの子ども向けイベントや、大道芸、bingoゲームなど盛り沢山の内容で、子どもから高齢者まで多くの方が楽しい時間を過ごしました。また今回はキッチンカーが出店し、こちらも大変賑わいました。

みんなの笑顔がいっぱいのおまつりになりました。

加藤貴子



# 夏まつり



## 清水町

八日市清水町では7月30日に、久しぶりにいきいき夏まつりが開催されました。午前中は、清水・小脇街づくり委員会とのコラボで魚つかみ大会を行い、その後は愛知川を地域の川としてよみがえらせよう活動されている愛知川塾の皆さんに、小鮎の天ぷらを提供していただきました。また、今まででは金魚や錦鯉の稚魚など

の小さな魚つかみでしたが、今年は愛知川塾の方が川で鮎を掴んで来てください、子どもたちも“ホンモノ”的魚つかみを楽しんでいました。

夕方からは射的やみたらし団子などのバザーや世界最長?のヨーヨーフリなどで楽しみました。

従来の神仏習合の慣習を禁止し、神と仏、神社と寺院を明確に区別する「神仏分離令」が明治元年に布告された。祭政一致、神道の国教化を図るために神祇官の設置、仏像を神体とするとの禁止、仏語の神社名の改名等が次々と通達された。

八日市の神社でも、日吉山王権現、太郎坊権現、十禪師大権現など仏語の神社名は、日吉神社、阿賀神社、野々宮神社へ改名する。又、別当、社僧を、神主、社人の称号で神社勤務とする。神社境内から梵鐘、鰐口を取り除き、鈴を設置する。これらが慌ただしくなされた。神仏分離令は本来、神社から仏具を取り除くことで、破壊が目的ではなかった。

しかし、神仏分離令をきっかけに、仏を廃し釈迦の教えを毀す「廢仏毀釈」が、滋賀の日吉大社で国宝級の仏具が焼却された出来事から全



## 金屋

金屋地区では、昨年に引き続き10月8日に「第2回金屋ふれあいまつり」を開催しました。

催しでは、湖東地区を中心に活動されている3人グループ「湖東ギターサークル」さんによるフォークソングの演奏と、昨年に引き続き能登川地区で4年前から活動されている「鼓湖(ここ)」という女性6人による和太鼓を披露していただき、会場から大きな拍手が送られました。

また、子どもたちのお楽しみとして、射的ゲーム、スマートボール、千本つりでお菓子のプレゼントが行われました。

ステージの催しが終わった後は、皆さんお待ちかねのbingo大会の開始です。出た数字が報告されるたびに大きな歓声があがり、盛り上がったbingo大会でした。

フードコーナーとしてはチョコバナナやキッチンカー、ビールの販売など、以前に開催していた夏まつりのような雰囲気でした。



高嶋芳紀



藤島銀二



國に蔓延した。

あれ 平成22年版宗教年鑑によると、全国には約16万の寺院・神社が存在し、その内、約8万が寺院である。人口の増加を補正した10万人これ当たり寺院数の都道府県別ランキングでは滋賀が228寺と最多で、福井、島根、石川と続く。

や 一方、少ない方では、沖縄が5寺と最小で、神奈川、東京、鹿児島の順である。(神奈川、東京の爆発的な人口急増は補正しきれず。) 沖縄が群を抜いて少ないのは、17世紀初めの薩摩による琉球侵攻後、新たな寺院の建立が禁止されたことによる。

神 また、鹿児島は島津家11代当主の斉彬の時代、最も苛烈な廢仏毀釈が展開された所で、かつて千以上の寺院があったが全て廃寺になつた。建築が最古とされる大慈寺も明治12年の建立である。

森野吉雄さん

# 旧八日市鉄道飛行場線跡 ウォーキング

まち鉄プロジェクトでは10月14日近江鉄道ガチャフェスで、「旧八日市鉄道飛行場線跡ウォーキング」を行いました。昨年に引き続き2回目の開催となつた今回は、むかし陸軍の飛行場があった沖野バス停までバスで移動し「飛行第三聯隊（れんたい）正門跡地」の石碑の前からスタートしました。

飛行場駅（御園駅）から川合寺駅があつた東本町の交差点（王将前）まで、現在は歩道になっている廃線跡をウォーキングし、大凧会館に残る陸軍憲兵隊跡地の境界杭や近江酒造跡地に保存されている電気機関車ED314を見学し、金屋通りの太子ホールまで歩きました。八日市と飛行場との関係、飛行場



と鉄道との関係、近江商人と街道との関係など興味を持って聞いておられました。

■ 山下勝司

## サロンで絵屏風の絵解き

9月20日に、旧愛東町の池之尻町の高齢者サロン「池之尻町しあわせホーム」で、八日市ふるさと絵屏風の絵解き出前講座を行いました。愛東地域は八日市の商圈でしたので、八日市が賑わっていた頃、買い物に訪れた思い出などを懐かしそうに語っておられ、予定時間をオーバーしてしまいました。



■ 浦根悦夫

人族考えさせられました。とに、毎日を過ごしていきたいです。友人・地域の人達など、家族考えさせられました。人にとも思ひます。

考らしさや命の大切さと思ひます。

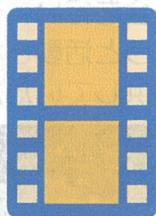
講演があり、普段は何気なくコンサートと、斎藤とも子によるコントと、清水の「いき夏まつり」が4年ぶりに復活し、暑さを忘れて、ご年齢の方から子ども達まで、模擬店やピングゴーグームを楽しんでいました。そんな皆さんのお笑顔や4年ぶりに会う方達との会話に、やっと日常が戻ってきたのだなと感じました。

また9月には「人権ふれあい、市民のつどい」が開催され、「いき夏まつり」の模年には、「人権ふれあい」と、清水町では「いき夏まつり」が4年ぶりに復活し、暑さを忘れて、ご年齢の方から子ども達まで、模擬店やピングゴーグームを楽しんでいました。そんな皆さんのお笑顔や4年ぶりに会う方達との会話に、やっと日常が戻ってきたのだなと感じました。

また9月には「人権ふれあい」と、清水町では「いき夏まつり」が4年ぶりに復活し、暑さを忘れて、ご年齢の方から子ども達まで、模擬店やピングゴーグームを楽しんでいました。そんな皆さんのお笑顔や4年ぶりに会う方達との会話に、やっと日常が戻ってきたのだなと感じました。

## ようこそ 八日市ふるさと絵屏風の世界へ Vol.2

8月11日～14日まで開催しました「ようこそ八日市ふるさと絵屏風の世界へVol.2」は、昨年に引き続きの開催となりました。今年は昭和の街並みの地図と写真展示のほか、八日市飛行場関連のビデオ・写真の展示、旧八日市鉄道飛行場線関連の資料展示、近江鉄道の写真を撮られている地元の写真家中村義宣さんの写真展、映画「ガチャコン！青春編」の上映を行いました。昔の地元の記事や行事を掲載したファイルの展示もあり、来場者が懐かしそうに見られていました。また、飛行場線と飛行場関連の資料は時代が少し古いためか、珍しそうに見られていました。



■ 山下勝司

## 防災実践講習会

防災プロジェクトでは、10月21日に八日市消防署において、令和5年度防災実践講習会を実施しました。

この実践講習会は、大規模災害に備えて地域の防災の要である自主防災組織活動の活性化、地域防災力の向上を図るために開催しました。

各町から合わせて52名の参加があり、演習では消火栓からの放水訓練をはじめガレキからの救助演習、倒壊家屋からの救出演習、被災者搬送用の簡易担架の作り方などを学びました。



■ 松村栄士

片言隻句

■ 片岡真世

編集  
発行